

未来の研究者を育成

サイエンスキャッスル九州大会

第一薬科大学

薬学部と看護学部を擁し、側隠の情を持つ真の医療人の育成を目指す第一薬科大学（福岡市）。12月8日、同大がパートナー大学として運営をサポートしている「サイエンスキャッスル2019」の九州大会が開催された。

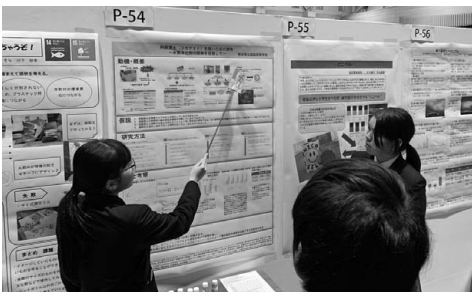
サイエンスキャッスルとは、株式会社リバネス（本社 東京・新宿区）が主催してお

り、研究・開発に挑戦する中学・高等学校・高等専門学校などを対象とする大規模な研究発表大会だ。未来を担う研究者の登竜門として名高く、毎年多くの生徒が課題研究の成果や部活動などの科学探究活動についての発表を行っている。

大会は年に一度、東北、関東、関西、九州の各地方およ



多くの生徒が発表を行い、賑わいを見せる会場



審査員を前に熱意を込めて研究成果を発表した

びシンガポール、マレーシアで実施。大学、民間企業、研究者、学会がサポートしている。パートナー大学である同大は、大会の運営に深く携わっており、九州大会では「第一薬科大学賞」を設置し、口頭発表の審査員として専門的な観点から参加者の発表を審査、フィードバックを行い研究を後押ししている。参加者は、研究者からのアドバイスに刺激を受けていた。

同大は、地域や企業との連携を通して積極的に未来の研究者の育成を図っている。昨年11月には福岡県内の高等学校と「高大連携協定」を締結。大学の授業科目への高校生の受け入れや大学教員による高校生の課題研究、部活動への協力、教員相互の出張講義などを実施する予定だ。質の高い研究資源を学外へと発信する姿勢は、同大の大きな強みと言えるだろう。